



5

わたしたちの生活とごみ

ごみを出さないくらし

ごみの量がふえていることも、環境問題のひとつです。ごみをへらしたり、出さないようにしたりする方法を考えることが大切です。また、ごみを資源として活用することも大切です。

わたしたちにもできる4R運動

今、わたしたちにできることは、ごみを出さないこと、そして、ごみをへらすことです。

一番大切なのがごみをふやさないリフューズ、次に、ごみをへらすリデュース、いつまでも使うリユース、最後に考えるのがリサイクルです。

越谷市では、毎日どれくらいのごみが出ているのでしょうか。また、どのように処理されているのか、調べてみましょう。



4R運動を心がけましょう。

- Refuse (リフューズ) → ごみになるものを受け取らないこと
- Reduce (リデュース) → ごみをへらすこと
- Reuse (リユース) → まだ使えるものはすてずに、また、使うこと
- Recycle (リサイクル) → ごみを変身させて、新しいものに変えること



マイバッグでお買い物 (リフューズ)



小学校でのリサイクル活動

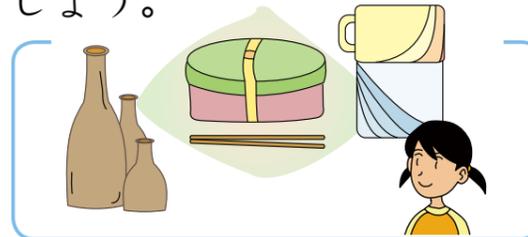
1. ごみになるものを 受け取らないように しましょう…

リフューズ・Refuse

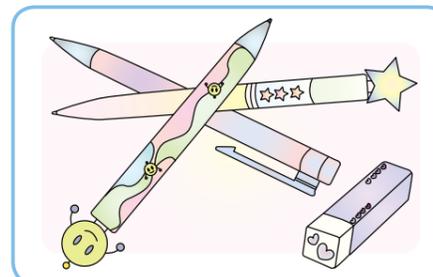
1 買い物にはエコバッグなどを持っていきましょう。



2 使いすての品物、使いすてのよう器ではなく、なるべくくり返し使えるものを選びましょう。

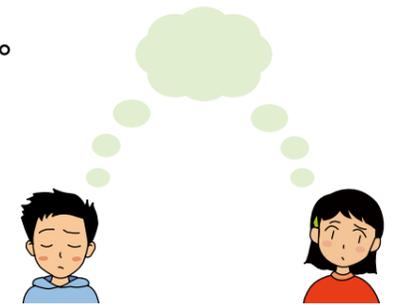


3 かわいいから、新しいデザインだからという理由で、必要のないものを買わないようにしましょう。

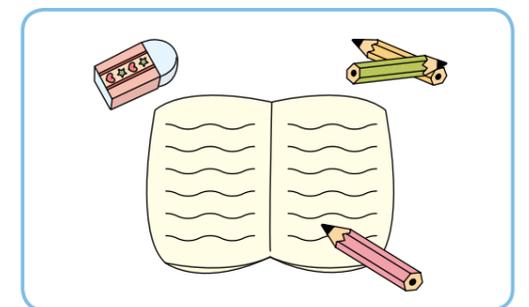


2. ごみをへらしましょう …リデュース・Reduce

1 ほしいものがある時は、よく考えてから買いましょう。



2 ノート、えんぴつや消しゴムを最後まで使いましょう。



3 つめかえのできるものを選んで買うようにしましょう。

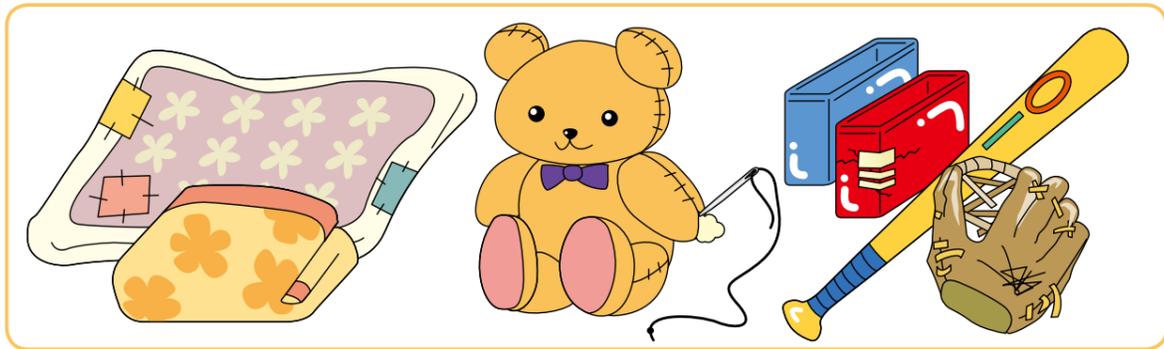




3. まだ使えるものは使いましょう…リユース・Reuse

さいりよう・さいしよう
再利用・再使用

1 使えるものはすぐにすてずに、しゅう理や部品を交かんして使いましょう。



2 いらないものは、近所の人や友人と交かんしたり、ゆずったりしています。



フリーマーケットの様子

わたしの服も、リユースです。



3 引き取ってもらえるびんは、買った店に返しましょう。



R リターナルびん

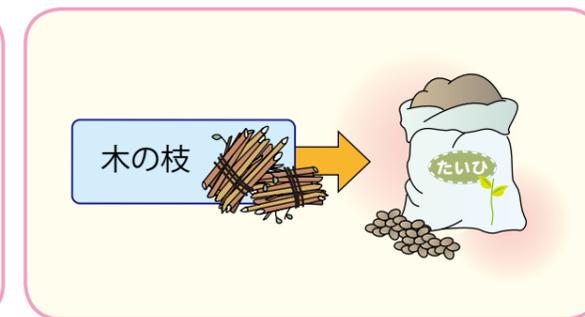
リターナルびんは、びんの上部に「Rびん」マークが付いています。



4. ごみを変身させて新しいものに変えましょう…

リサイクル・Recycle

1 びん・かん・ペットボトル・古紙・木の枝などをリサイクルしましょう。



2 買い物の際に、下のようなリサイクルマークのついた物を選んで、買うようにしましょう。買う人がふえるとリサイクル商品もふえていきます。



エコマーク



牛乳パック再利用マーク



再生紙使用マーク

ほかにもたくさんのマークがあります。調べてみましょう。



3 リサイクルを進める活動に参加しましょう。



リサイクル活動の様子

学校や地いきの子ども会などでも、集団資源回収活動が行われています。



越谷市での取り組み

越谷市でも、ごみをへらしたり、出さないようにするために取り組みを行っています。

越谷市での取り組み① 再生家具の販売

越谷市リサイクルプラザでは、開館日に粗大ごみから修理再生したりサイクル品を常時販売しています。学習机、棚、テーブル、イスなど様々なものがリユース (Reuse) されています。



家具を修理する様子



再生家具の販売の様子

越谷市での取り組み② 小型家電のリサイクル

小型家電 (携帯電話やデジカメ等の小型の家電製品) を回収して、中に使われている貴金属やレアメタルなどをリサイクルします。越谷市では市役所やリサイクルプラザなどに回収ボックスを設置し、回収を行っています。



小型家電回収ボックス

越谷市では、市内から出されたもえないごみを「越谷リサイクルプラザ」で再利用しています。リサイクルプラザや越谷市でのごみの再利用の取り組みについて調べてみましょう。

環境にやさしいくらしかた

環境について学んで、たくさんの方の事を知っていても行動しなくては何も変わりません。家族で力を合わせたり、友だちと力を合わせたりして、毎日の生活をかえ、地球にやさしい活動を始めましょう。

6 はじめよう
さあ始めよう
エコライフ

環境ファミリーせんげん

越谷市では環境にやさしいくらしをしようとしている家族を「環境ファミリー」として登録しています。市役所などから用紙をもらって、どんな活動をするか決めて登録しましょう。



エコライフDAY埼玉

埼玉県では、かんたんなチェックシートで、二酸化炭素をどのくらいへらせたかがわかる「エコライフDAY埼玉」への参加を呼びかけています。チェックシートを使って環境にやさしい生活をしてみましょう。



エコライフDAY埼玉
チェックシート

2019年は、夏に約47万人、冬には約46万人、合計約93万人の方が参加したそうだよ。



こどもエコクラブ

環境の学習や活動をするなら「こどもエコクラブ」に入参しましょう。児童館ヒマワリに連絡すれば、いつでも入参することができます。



活動の様子



『自然豊かな越谷市』を目指して 越谷生物多様性子ども調査

越谷市は、豊かな自然を積極的に生かしたまちづくりを進めています。わたしたちの生活する越谷が、これからも自然豊かなまちであり続けるために、わたしたち自身は何をしていったらよいでしょうか。

それを考え、実際に行動するきっかけとなるよう、平成24年度から始まったのが、越谷生物多様性子ども調査です。この調査では、1年を通して学校にやってくるトンボやビオトープにいるヤゴの種類を調べます。この調査を通して、越谷の自然について学び、生き物が住みやすい環境について考え、よりよい環境をつくっていきましょう。

越谷 生物多様性子ども調査 キューアンドエー Q&A

なぜ、トンボを調べるの？

- ・トンボはみんなの身近にいる生き物だからです。
- ・トンボは自分が好む場所に飛んでいって生活したり、卵を産んだりします。つまり、そこにどんな環境があるのかが、集まってくるトンボの種類によってわかるからです。

トンボやヤゴの種類はどうやって調べるの？

- ・自分の学校やビオトープで見つけたトンボやヤゴの特ちょうを、観察ノートに記録します。写真を撮ってもいいです。
- ・調査のために、越谷にいるトンボやヤゴだけのがのっている図鑑が配られます。
- ・1年の終わりに、どんな種類のトンボが見られたかによって、学校の環境を評価し、改善していきます。



ビオトープってどんな場所？

- ・ビオトープは生き物のすみかです。そして、「それぞれの地いきに昔からくらししている生き物たちが生きていくための条件がそろっている場所」です。



ビオトープにザリガニや魚を入れて育ててもいいの？

- ・よそから生き物を連れてきてはいけません。ビオトープは生き物が自分からやってくる場所です。人間が飼いたい生き物を飼う場所ではありません。
- ・他の場所から生き物を連れてくると、そこでもともと生活していた生き物が食べられたり、おいだされたりしてしまい、ビオトープの環境が壊れてしまいます。

ビオトープはきれいにしなくていいの？

- ・整備するときは、環境を壊してしまわないように専門家のアドバイスを受けてから行います。
- ・水がなくならないように、少なくなったときには足します。
- ・草刈りをする必要はありませんが、セイタカアワダチソウなど昔は越谷になかった植物は抜いてください。
- ・越谷市の学校ビオトープは、つくられた順に専門家による整備を定期的に行っています。

自分の学校にはビオトープはないけれど、調査はできるの？

- ・プラスチックの大きな箱（プラ舟）に土や水を入れ、水草を植えてミニビオトープをつくります。作り方は専門家の方が教えてください。みんなで作ったミニビオトープにトンボがやってきて、卵を産んでくれれば、ヤゴの観察ができます。



生物多様性子ども調査学習支援

越谷生物多様性子ども調査学習支援が、市内全ての小学校で行われています。みなさんが身近なビオトープを観察したときに、専門家や環境サポーターさんから身近な環境のことを教えていただきます。



SDGsってなんだろう？

1 SDGsってなんだろう？

地球には77億の人がくらしています。

でも、今地球では気候変動(異常気象が多くなることなど)、資源のこかつ(人間が活動していくために必要な物資が足りなくなること)、貧困や紛争(国どうしや国の内部の争い)、感染症など、多くの問題が起きています。

人類がこのまま地球で暮らし続けていくために、世界中の国が協力してこの問題を解決していくこと、「持続可能な開発目標」(このまま人類が地球でずっとくらしていけるようにすること)＝「SDGs※」(エスディーゼーズ)をつくりました。(※＝Sustainable Development Goals の略)

世界中の国が、2030年を目標に、SDGsの実現をめざして努力しています。みなさんも、SDGsをくわしく調べてみてください



2 SDGsの17の目標ってなんだろう？

SDGsには2030年までに達成すべき17の目標があります。地球でくらす人々をだれ一人取り残さないための取組です。これから、それらをひとつひとつみていきましょう。



①「貧困をなくそう」

世界には、生きるために必要な食べ物や家がなくて、1日におにぎり2個しか買えないお金で生活している人が、たくさんいます。困っている人を助ける方法を考えることが大切です。



②「飢餓をゼロに」

世界には、食べるものがなくて、空腹に苦しむ人がたくさんいます。みんなが食べられるようにしたり、食べ物をむだにしたりしないことが大切です。



③「すべての人に健康と福祉を」

病院に行けず、5歳になる前に命を落とす赤ちゃんや子供が、1年間に520万人もいます。みんなが健康な生活を送れるようにすることが大切です。



④「質の高い教育をみんなに」

世界には、学校に行きたくても行けない子供が5700万人もいます。誰でも教育を受けられるようにすることが大切です。



⑤「ジェンダー平等を実現しよう」

「男の子だから」「女の子だから」など、性別のちがいによって、物事を決めたり、差別されたりしないようにすることが大切です。



⑥「安全な水とトイレを世界中に」

よごれた水や清潔でない場所では、病気になるやすいです。安全な水と環境をどこでも使えるようにすることが大切です。



⑦「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

世界には、まだ電気を使うことができない人たちがいます。世界中で電気やガスを使えるようにしていくことが大切です。



⑧「働きがいも経済成長も」

世界には仕事がない人や、安い給料で大変な仕事をしている人がたくさんいます。すべての人が働きがいのある仕事ができるようにすることが大切です。



⑨「産業と技術革新の基盤をつくろう」

電気・水道・道路など、生活に必要なものを整えて、みんなが安全で気持ちよく生活できるようにしていくことが大切です。



⑩「住み続けられるまちづくりを」

すべての人が、安全で住みやすい家や、水や電気などを使って生活でき、災害に強いまちをつくっていくことが大切です。



⑬「気候変動に具体的な対策を」

世界中で、今までにないような暑さになったり、大雨が降ったりしています。気温がこれ以上上がらないように行動することが大切です。



⑮「陸の豊かさも守ろう」

陸に住んでいる生き物を守るために、木を切りすぎたり、野生の動物を殺したりせず、森林を守っていくことが大切です。



⑰「パートナーシップで目標を達成しよう」

世界のみんなで協力し合って、地球の様々な問題を解決していくことが大切です。



⑩「人や国の不平等をなくそう」

年齢や性別、生まれた場所や国などで差別されないよう、すべての人たちが自分の力を生かすことができる世界にすることが大切です。



⑫「つくる責任 つかう責任」

世界でつくられる食べ物の約3分の1が、捨てられてしまっています。ごみをへらし、物を大切に使う社会をつくるのが大切です。



⑭「海の豊かさを守ろう」

海は地球の約4分の3を占め、様々な生物が暮らしています。ごみを捨てて汚したり、魚をとりすぎたりせず、きれいな海を守ることが大切です。



⑯「平和と公正をすべての人に」

いじめや犯罪、戦争などの暴力にたよらず、みんなで話し合っ、問題を解決していくことが大切です。

SDGsについて、
ふしぎに思ったことや、
分からないことを
どんどん調べてみよう。



鎌谷特別市民
ガーヤ



かんきょうきょういくしりょう

環境教育資料「しらこぼと」はこのべんきょうでもつかえるよ

| 学年 | 社会 | SDGs | 理科 | SDGs |
|----|--|------|---|------|
| 3年 | | | 「しぜんのかんさつ」 P110 越谷で見られる春の動植物 「こん虫をしらべよう」 P112 越谷で見られる秋の動植物 | 15 |
| 4年 | 「くらしをささえる水」 P116-117 越谷の川 「ごみとすみよいくらし」 P122-126 ごみを出さないくらし 「自然災害から人々を守る」 P116-117 越谷の水害への対策 | 6 | 「あたたかくなって」 P110 越谷で見られる春の動植物 「暑い季節」 P111 越谷で見られる夏の動植物 「すずしくなると」 P112 越谷で見られる秋の動植物 「寒さの中でも」 P113 越谷で見られる冬の動植物 | 15 |
| | | 13 | | |
| 5年 | 「環境を守るわたしたち」 P107地球の環境とわたしたちの生活 「自然災害を防ぐ」 P120-121 水害から守る | 11 | 「台風の接近」 P120-121 水害から守る 「川と災害」 P116-117 わたしたちと川 | 11 |
| 6年 | | | 「生物のくらしと環境」 P107 地球の環境とわたしたちの生活 「人と環境」 P107 地球の環境とわたしたちの生活 | 11 |

| | |
|-------|--|
| 中学校理科 | 【1年】「植物の世界」 第1章 身近な生物を観察しよう 第3章 植物のなかま P108-113 わたしたちと動植物 |
| | 【2年】「動物の世界」 第4章 動物のなかまと進化 P108-113 わたしたちと動植物 「天気とその変化」 第3章 大気動きと日本の天気 P120-121 水害から守る |
| | 【3年】「自然・科学技術と人間」 第1章 自然と人間 P116-117 わたしたちと川 川の水質の変化 P120-121 水害から守る |

《表の見方》

「しぜんのかんさつ」→教科書の題名

p178 越谷で見られる春の動植物

↑しらこぼとのページと内容

15 → 関係のあるSDGsの主な目標の番号

表にある番号は、その学習がSDGsのどの番号の目標と関係があるかを示しています。(目標の番号については、前のページを見ましょう。)

関係のある目標は他にもたくさんあるので、みんなで話し合ってみましょう。

| かてい か 家庭科 | SDGs | た きょう か その他の教科 | SDGs | 教科 学年 |
|---|----------|---|---------------|-------|
| | | 国語「きせつの言葉」 P110 越谷で見られる春の動植物 P111 越谷で見られる夏の動植物 P112 越谷で見られる秋の動植物 P113 越谷で見られる冬の動植物 | 15 | 3年 |
| | | 算数「グラフや表を使って調べよう」 P119 越谷市の下水道の広がり方 国語「詩を楽しもう 春のうた」 P110 越谷で見られる春の動植物 国語「もしものときにそなえよう」 P120-121 水害から守る | 6 15 13 | 4年 |
| 「整理・整とんで快適に」 P122-127 わたしたちの生活とごみ 「生活を支えるお金と物」 P122-127 わたしたちの生活とごみ | 12 | 国語「グラフや表を用いて書こう」 P117,122-127 わたしたちの生活とごみ | 12 | 5年 |
| 「クリーン大作戦」 P122-127 わたしたちの生活とごみ 「共に生きる地域での生活」 P122-127 わたしたちの生活とごみ 「持続可能な社会を生きる」 P122-127 わたしたちの生活とごみ | 11 12 | 国語「私たちにできること」 P106 越谷市の環境を考えよう P10 地球の環境とわたしたちの生活 P108-115 私たちと動植物 P116-121 わたしたちの川と水 | 11 | 6年 |

| | |
|--|-------|
| 地理的分野 第3編 「日本のさまざまな地域」 第2章 「日本の地域的特色と地域区分」 11 3 「自然災害と防災・減災への取組」 P120-121 水害から守る | 社会 |
| 【1年】「オーストリアのマス川」「トキのいる里をもう一度」 P108-113 私たちと動植物 【2年】「コスモスR計画」 P122-127 わたしたちの生活とごみ P127 さあ始めようエコライフ | 11 道徳 |



越谷の自然 ネイチャービンゴ

- ☆ 見付けたら○をつけよう。
- ☆ たて・よこ・ななめがそろったらビンゴだよ。
- ☆ ビンゴがいくつできるかな。
- ☆ 一年間で全部見つけてみよう。見付けたら日付を入れよう。

| 草・花 | 木 | 水辺の生物 | 鳥 | 虫 |
|--------|--------|-------|--------|-------|
| ハルジオン | クヌギ | コイ | シジュウカラ | トンボ |
| タンポポ | ソメイヨシノ | メダカ | オナガ | チョウ |
| ドクダミ | イチョウ | ヤゴ | ハト | バッタ |
| フジバカマ | ケヤキ | カエル | カモ | ダンゴムシ |
| シロツメクサ | スギ | アメンボ | オオヨシキリ | カマキリ |

合計 ビンゴ

越谷の環境 クロスワードパズル

クロスワードで楽しく越谷の環境について学ぼう！
 カギをヒントにわかるところからやってみよう。
 環境教育しりょうしーらこぼとちの中に答えは全てあります。
 ★ヒント：ひらがなにしてください。

たてのカギ

- ① トンボの幼虫。生物多様性子ども調査で調べる。
- ③ 市の鳥で、国の天然記念物にも指定されている。
- ⑥ 屋上で植物を育てることで、建物を冷やす効果が期待できる活動。
- ⑩ ごみを変身させて、新しいものに変えること。
- ⑬ 越谷を流れる主な川の一つの名前。
- ⑭ 学校の外に流れだす雨水を一時的にためること。
- ⑯ 北海道で発見され、越谷でも発見された植物。葛西用水で多く自生している。
- ⑰ 大雨の時に川の水があふれないように、別の大きな川へ水を放流する人口の水路。
- ⑱ 野鳥の森のとなりなりにあり、新方川の水の量を調整する池。

よこのカギ

- ② 大きな川が流れ、水が豊かにある越谷市を表す言葉。
- ④ 昭和13年に発見された新種の水草。現在は自生していないが、栽培が行われている。
- ⑤ 自然の生き物がすめるようになった場所のこと。
- ⑦ 昔は多く咲いていたが、絶滅のおそれがある植物。
- ⑧ 使えるものはすてずに、また使うこと。
- ⑨ 教室の窓辺などでヘチマやゴーヤを育て日かげをつくる取り組み。
- ⑪ ごみをへらすこと。
- ⑫ ハトより小さく尾が短い冬鳥。
- ⑮ ごみを出さない、へらすための運動のこと。3つの取り組みの頭文字からできた言葉。